

成果の説明書

(氏名) 藻利 衣恵	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>【研究活動】</p> <p>(1) 文部科学省 科学研究費補助金 (若手研究・2020年4月～2024年3月)、および令和2年度高崎経済大学特別研究助成金を獲得した。</p> <p>(2) 現在、15年ほどの研究のとりまとめを行っており、毎週、専門の先生方と検討会を行っている。本年度も、引き続き、それを継続する。(2020年12月に、途中経過を、現代資本会計研究会 [名古屋大学] でも報告した。)</p> <p>(3) 昨年度の成果の説明書(5)および本年度の成果の説明書(2)と関連して、「株式報酬費用認識の要否」と題する論文が、『ディスクロージャー&IR』第12号(招待あり)に掲載され、2020年5月に刊行された。</p> <p>(4) 3年前の成果の説明書(6)、一昨年度の成果の説明書(4)、昨年度の成果の説明書(4)、および本年度の成果の説明書(2)と関連して、「株式報酬費用の相手勘定」と題する論文が、『ディスクロージャー&IR』第15号に掲載され、2020年11月に刊行された。</p> <p>(5) 本年度の成果の説明書(2)と関連して、「株式報酬費用の期間配分」と題する原稿を、2020年5月の現代資本会計研究会(名古屋大学)で報告し、『高崎経済大学経済学会ワーキング・ペーパー』に投稿している。研究のとりまとめに伴う該当章の検討が終わり次第、査読誌に投稿する予定である。</p> <p>(6) 本年度の成果の説明書(2)と関連して、Adjustment of allocation plans for stock-based compensation costs と題する論文が、経営関連学会協議会の査読を通過し、Journal of Japanese Management 5(2)に掲載され、2021年4月に刊行される予定である。</p> <p>(7) 本年度の成果の説明書(2)と関連して、「ストック・オプション取引における資本説の起源——実務対応報告第41号「取締役の報酬等として株式を無償交付する取引に関する取扱い」における没収を題材にして——」と題する論文が、『ディスクロージャー&IR』第17号に掲載され、2021年5月に刊行される予定である。</p> <p>(8) 本年度の成果の説明書(2)と関連して、「ストック・オプション会計に関する論点整理・再考」と題する原稿を執筆した。研究のとりまとめに伴う該当章の検討が終わり次第、投稿する予定である。</p> <p>【教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none">● 講義<ul style="list-style-type: none">➤ 財務会計Ⅰ・Ⅱと上級簿記コロナ禍の対応に伴い、以前から取り入れている google classroom に加え、Teams を取り入れながら、Zoom を使用したオンデマンド型講義を実践した。毎週の課題と、中間・期末のレポートに対しても、全員にコメントを行った。 ● ゼミ<ul style="list-style-type: none">全学年に対して、Zoom を利用したリアルタイム型講義を行った。また、Zoom 飲み等により、交流を図るようにした。➤ 基礎演習 (2年) : 今までの経験を踏まえているものの、Zoom ばかりで人間関係は例年に比べると希薄であるため、来年度、関係構築の強化を図りたい。➤ 演習Ⅰ● 『企業会計入門—考えて学ぶ』の章末 Discussion の解答例を、現在作成している。	

<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年度に引き続き、2 グループでグループ研究を行った。その結果、日経インナー大会は予選落ちに終わったものの、その際に高レベルなプレゼンテーション作成・発表能力を獲得し、うち1班が2度目の経済学部プレゼンテーション大会で準優勝を受賞した。 <p>また、12月に明治学院大学（山田ゼミ）・國學院大學（中田ゼミ）とのインターゼミ、2月に早稲田大学商学部大鹿ゼミとのインターゼミも、オンラインで行った。</p> <p>➤ 演習Ⅱ</p> <p>自由テーマの論文をほぼ全員が提出し、2月卒論発表会・謝恩会をオンラインで行った。また、卒業論文集は、学内で図書館に所蔵し、ホームページでも掲載した。</p>
<p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 樹徳高校 出前講義 ● 教職課程運営委員 ● 高崎経済大学生協同組合 特定監事 ● 日本学生経済ゼミナール関東部会 第60回インナー大会 プレゼンテーション部門 審査員 ● 大学生協事業連合東京ブロック学生委員 <p style="text-align: right;">ほか</p>
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>【研究活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 研究のとりまとめを完了し、本年度中の学位申請を目指す予定である。 <p>【教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コロナ禍への対応を模索しつつも、例年通り、教育活動を行う。